

大畠中だより

柳井市立大畠中学校 学校通信 No. 16

令和6年 8月後期

<https://www.city-yanai.jp/site/obatake-chu/>

夏休みも大畠中らしく～充実の43日間でした！

夏休みといえば・・・海、花火、映画、旅行、友達と遊ぶ、部活、宿題……。昔も今もかわらないようですが、大畠中生にとっての今年の夏休みは、『全国中学校総合文化祭』に「剣舞」で出演するための準備などもあり、長いようで短い夏休みだったようです。それでも、夏休みの思い出を聞くと、「お祭りが楽しかった」「家族で旅行に行った」「川でBBQをした」などなど、充実した夏休みの様子を教えてくださいました。3年生は、「勉強をがんばった」「1・2年生の復習をした」「オープンスクールに参加した」など進路を意識した答えも多く返ってきました（さすがですね）。

毎度恒例の漢字一文字で表すとしたら？の問いには、一番多かったのは今年も「楽」（やっぱり、夏休みは楽しいものです！）、次は「暑」でした（本当に暑かったですね）。他はいろいろで「頑」「冷」「忙」「実」「良」……。でも中には「難」「眠」「寝」「疲」なんて人も……。う～ん。（ちなみに教職員はバラエティに富んでいて、「楽」「海」のほか「習」「学」「瞬」など。みどりが丘図書館が開館したので「本」の先生も……。すてきですね）

『大畠中2024夏』～大畠中の夏休みを前号に続き一部紹介します。

切って、搾って、ラベルを貼って～3年ぶりの橘香酢づくり

8月7日（水）、農村婦人の家にて「橘香酢（きっかす）づくり」のボランティアに13名が参加しました。橘香酢は、柳井市生活改善実行グループ連絡協議会大畠グループが製造している天然みかん酢で、県や市からブランド指定を受けている大畠地区の特産品です。コロナ禍の間、残念ながら参加できませんでしたので、3年ぶりの橘香酢づくりでした。摘果みかんの収穫量の関係から人数を搾っての参加でしたが、みかんの香りが漂う中、額から汗を流しながらの作業になりました。



【生徒の感想より】

- 大きいみかんを機械に押しつけて搾ることが大変だったけど、楽しかったです。
- 橘香酢は、一つ一つのみかんを丁寧に搾り、本当に大切につくられていることがわかりました。
- 切るところから瓶詰め、ラベルを貼るところまで最後まで手作業で、とても大変だと思いました。
- 地域の人と学校のこと、部活動のこと、夏休みのことなどいろんな話ができて楽しかったです。

おいでませ！文化が結ぶ数多（あまた）の光 ～新世代の息吹よ 集まれ 山口～

8月22日（木）、下関市で開催された「第24回全国中学校総合文化祭山口大会」に参加しました。この総合文化祭は、全国の中学生在が絵画や書写といった美術・芸術作品や、創意工夫をこらした科学作品や新聞、技術・家庭科の作品等の展示交流を行うとともに、学校や地域で取り組んでいる郷土芸能や演劇、吹奏楽、合唱などを舞台上で発表する全国大会です。今年は山口県が開催の地となり、8月22日（木）と23日（金）の2日間にわたって下関市民会館と下関市生涯学習プラザを会場に開催されました。



大畠中学校も山口県の代表の1校として、伝統の『剣舞 立志の詩「将に東遊せんとして壁に題す」』を披露してきました。（当日高校のオープンスクールがあり、参加できなかった生徒がいたのが残念でした。）



【生徒の感想より】

- 全国の中学生在がきていて、とても緊張したけど、みんな大きな声で朗唱をして、練習の時よりもいい剣舞ができたので良かったです。
- 今日の発表でがんばったことは、声を出すことです。練習の時は恥ずかしくて、大きな声を出す勇気がありませんでした。けれど、本番では、全力で舞い、大きな声を出すことができました。
- 剣舞の発表ではすごく緊張しました。しかし練習したことを活かして発表していくと、緊張が解けて自分の思い通りに発表することができました。3年生で最後にいい経験ができました。
- 私たちは一所懸命練習しました。剣舞をするのは初めてだったのでとても大変でした。他の学校のパフォーマンスは本当にすばらしかったです。私たちもすばらしいパフォーマンスをしました。
- 他校も練習を重ねてがんばってきたのが伝わってきてすごいなと思いました。多くの学校が伝統文化を受け継ぐという目的で、とても迫力ある演技がたくさんありました。



海峡ビューしものせきで昼食『焼きカレー』眺めも良かったです。



演技後のインタビューを受ける代表生徒（少し緊張）



他校の舞台に刺激を受けました。